

Japón Argentina 会報

No. 26
21 de Octubre, 1999

今日の話題

<シリーズ>

アルゼンチン・ワインの
通（つう）になろう①...2

ブエノスアイレス日亜学院
「秋篠宮文庫」正式発足へ
.....3

速報 政治・経済動向 ..4

アルゼンチン経済省公報
UPDATE6

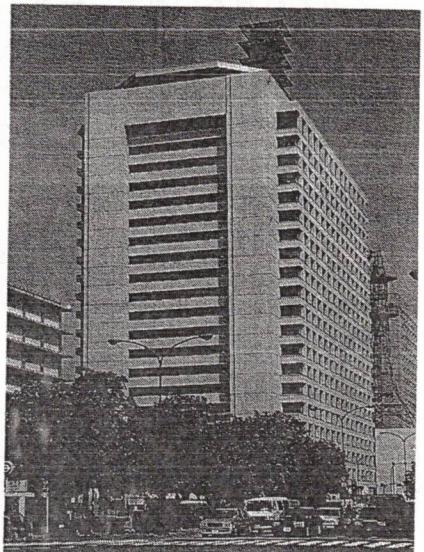
「アルゼンチンと私」(1)
藤本芳男7

インタビュー<この人>
勝った海戦の教訓は生か
されたのか8

ペヘレイ養殖場見学の
ご案内9

アルゼンチンの石材 日本のビルと公園に デビュー

霞ヶ関官庁街。外務省と警視庁の間に、ひときわ聳え立っている21階（地下4階）高さ99.5メートルの高層ビル（写真）。省庁再編後、自治省、警察庁が入居すると言われている新中央合同庁舎第二号館。わが国に如何なる地震が発生しても最後まで残って、治安、救助の指揮命令をする中枢本部の機能が可能な建物。いざなればわが国で最も堅牢な耐震建築物。このビルの外壁に使用された石材がアルゼンチンのチューブ州から輸入された花崗岩である。



総面積42,000m²のGRIS PERLA（真珠系灰色）の外壁が納入されるまでには、想像を超える輸入業者の奮闘があった模様だが、品質と価格において並みいる世界中の石材のなかで、アルゼンチンの花崗岩が建設省で採用された。

「アルゼンチンの石材は、世界で最も吸水率が低く（平均0.2%）堅牢で、美しい色が変化しないのが特徴です。雨の多い日本にはなによりの石材で、建設省もその良さをゼネコンに先立って認めてくれました（石材輸入業者）」

「毎年、大量にイタリアへ輸出され、イタリアの石材の殆どは実は、アルゼンチンの石材です（アルゼンチン大使館）」

アルゼンチンの石材—花崗岩、斑岩（はんがん）—が大量に日本に輸入され始めたのはごく最近。海上運賃が大幅に引き下げられたため、運賃負担力が増したためだ。この傾向は今後とも続くものと観測される。アルゼンチ

ンの花崗岩を使用した建物は、大阪市役所、大手町ファーストスクエア、同和火災（大阪、名古屋、長野）、淡路町共同ビル、神戸税関ビル、住友ケミカルエンジニアリングなどがあり、今後この花崗岩の特徴が、とりわけ日本の風土に最適との比較優位性が一般に認知されれば、さらに輸入が増大するものとみられる。

アルゼンチンの斑岩も輸入增加の傾向にある。斑岩とは、マグマが地中の深部で冷却固定化した、半深成岩で、主に石英や長石を含み、あらゆる岩石中で最も固く、磨耗や凍結に強く、吸水性が極めて低いため、外観、品質の劣化がなく、年とともに美しさを増すと、ヨーロッパでは古くから珍重がられ、建築や道路の舗装、庭園の敷石などに使われてきた石材である。日本ではすでに明石海峡大橋公園（淡路、明石）、渋谷パーサージュガーデン、名古屋セントラルタワー、品川インターシティ、さいたま新都心（大宮）、やすらぎアベニュー（浦和）にデビューしている。ヨーロッパなみの安らぎと落ち着いた景観が、アルゼンチンの斑岩によって、創造されている。

みなさんの会社のビル、お宅やお庭、コミュニティーの街並み改造などに、ヨーロッパ風の雰囲気を醸し出すアルゼンチンの石材を導入されてはいかが。当協会のメンバーである輸入業者から、協会員の方に限り輸入原価で販売するとの話もある。（野村秀治）

<シリーズ>

アルゼンチン・ワインの通（つう）になろう①

アルゼンチン・ワインの静かなブームが、いま進行している。とりわけアルゼンチンのVINO TINTO（赤ワイン）は世界的に定評がある。熟成したおいしさに加え、この赤ワインは(a)コレステロールを下げる働きをする(b)動脈硬化を未然に防ぐ効果がある点が、医学的に証明されて以来、健康指向の愛好者が急増している。

「一体、何処でアルゼンチン・ワインが手にはいるの？」との問い合わせが急増している。

ご要望にそい、「アルゼンチン・ワインの情報」を連載でお送りする。

■ワイン銘柄と特徴

バロン・B (Baron B)

ドン・ペリニヨンのモエ&シャンドン社の技術で作られた最高級辛口スパークリングワイン。どんな料理にも合う。

ムーラン (Clos du Moulin)

2年間樽でさらに2年瓶で熟成した豊潤でコクのあるフルボディワイン。肉料理やブルーチーズと特に合う。

バルモン・赤

(Comte de Valmont)

ドライで軽く若い風味が特徴の赤ワイン。ボージョレ・タイプのアルゼンチンで最も人気のあるワインの一つ。

バルモン・白

(Comte de Valmont)

キレの良い新鮮な辛口味は魚料理、シーフード、とり、野菜料理によくマッチ。8~10°Cが飲みごろ。

■販売小売店

関東地域

恵比寿ワインマート PARTY
渋谷区恵比寿4-20-7
エビス・ガーデン・プレース B1
03-5424-2580

遠州屋酒店

世田谷区経堂1-19-12
03-3420-6323

津国屋酒店

世田谷区深沢3-3-13
03-3701-2181

そごうデパート川口店

川口市栄町3-5-1
048-258-2480

小林商会・逗子店

逗子市沼間1-4-6
0468-71-4457

ラ・プリコ・ドゥヴェール新橋店

港区新橋3-1-9
ガラスセンタービル B1
03-3580-0155

レストラン・キャッスル
千代田区内幸町2-1-1、飯野ビル9F
03-3506-5070

めぐろ（EST）
福島県白河市字東小丸山68-2
0248-24-0575

リカーズ和泉屋
中野区沼袋1-18-7
03-3386-0538

関西地域
グリル・ロア
大阪市北区曾根崎2-5-30
06-6361-5524

ステーキハウス・kokubu
神戸市中央区北長狭通1-21-2
サンメイビル2F
078-321-1717

クック・ナカタ
神戸市中央区琴猪町5-3-5
グリーンジャンボB1
078-221-3827

■輸入業者名（担当）
川重商事株式会社（当協会員）
東京都港区虎ノ門1-20-10
西松ビル6階
TEL 03-502-2285（山上）

■ワイン銘柄と特徴
ナバロ・コレアス
(Navarro Correas)
ナバロ・コレアスは革新的技術を背景にしたトップレベルのワインです。日ア修好100周年記念の大統領主催午餐会に供された特級品。

Cabernet Sauvignon (Red)
Pinot Noir (Red)
Syrah (Red)
Malbec (Red)
Chardonnay (White)
Sauvignon Fume (White)

ブエノス・アイレス 日亞学院「秋篠宮文庫」

名称使用正式認可され、11月30日創設式典へ

日ア修好100周年を記念して、ブエノスアイレス日亞学院に創設される「秋篠宮文庫」の名称使用は、10月4日宮内庁鎌倉長官から当協会斎藤会長あてに「文仁親王殿下には、これをご承認になった」旨の正式通知があった。

これに先立ち来日中の日亞学院真木理事長と野村専務理事は、9月30日午後、青山の秋篠宮家に表敬訪問、秋篠宮殿下同妃殿下と懇談した。席上、殿下はこの文庫が日本とアルゼンチンのバイ・リンガルおよびバイ・カルチャーの啓蒙に役立つよう希望され、妃殿下は童謡、民謡を通じたバイ・リンガルの教育振興に熱意を示された。

文庫の創設式典は、来る11月30日、ブエノスアイレス日亞学院で木島駐ア大使、ウォルケル文化庁長官の臨席のもとに開催される。

Reserva Privada, Cabernet
Sauvignon (Red)

WINE MARKET PARTY

渋谷区恵比寿4-20-7
エビス・ガーデン・プレースB1
Tel 03-5424-2580

ゴイネチア (Goyenechea)
アルゼンチンのワイン銘醸地の一つ、サン・ラファエル地区を代表するゴイネチアは、五世代にわたる伝統の技法で造られる高品質ワインです。

渋谷東急

渋谷区道玄坂2-24-1
Tel 03-3477-3111

Cabernet Sauvignon (Red)
Merlot (Red)
Syrah (Red)
Centenario, Cabernet
Sauvignon (Red)
Chardonnay (White)
Sauvignon Blanc (White)

■輸入業者名（担当）

カルピス株式会社（当協会員）
渋谷区恵比寿2-20-3
TEL 03-3780-2168（伊藤）

■販売小売店
大丸東京
千代田区丸の内1-9-1
Tel 03-3212-8011



政治・経済動向速報

小林晋一郎 東銀リサーチ・インターナショナル研究理事

ブエノスアイレス市内のホルヘ・ニューベリー空港で8月31日、コルドバ行きのラバ航空ボーイング737型機が離陸に失敗、空港付近のゴルフ練習場に激突、多数の死傷者をだす惨事となった。離陸準備が出来ていない事を知らせる警告音を無視したパイロットのミスとの報告書がだされた。

第2四半期のGDP成長率は前年同期比でマイナス4.6%と政府発表があった。ブラジルの通貨切り下げの波及を受けた景気の落ち込みから経済成長見通しは本年度予算策定時点の98年9月は4.8%の成長を前提としていたが、12月には2.5%に下方修正され、現在のIMFと合意している今年の経済成長率はマイナス3%である。

アルゼンチンとブラジル両国の中銀は8月26日、金融機関の監督強化を図る為、金融機関情報を交換する合意書に調印した。情報交換により両国にまたがって活動している金融機関に対しより適切な措置を探ることが可能となる。

8月25日に発表された10月24日に大統領選挙についての世論調査によれば、野党同盟のデ・ラ・ルア候補が与

党ペロン党のデュアルデ候補を12.4ポイントの差をつけている。前経済大臣のカバロは共和行動党から立候補している。

国際金融界のエマージングマーケットへの見方が厳しく、さらに国内の景気後退や大統領選挙を控えての政治的不透明さなどからアルゼンチンの対外資金調達コストが上昇している問題の対応策として政府は世銀が新たに設立した保証制度の利用を申請した。世銀は9月15日、アルゼンチンの発行する国債2億5000万ドルの世銀保証を承認した。

メネム大統領は8月10日、訪問先のパタゴニア地方で記者団に4年後の2003年の大統領選挙に出馬する考えを明らかにした。

アルゼンチン政府が発表した衣料品・靴などの輸入に対する保護主義的措置を巡りメルコスル4カ国による首脳会談が7月29日、開催されたが解決策を見出す事は出来なかった。アルゼンチンはブラジル・レアル切り下げに対応して繊維品輸入枠設定や輸入靴の表示方法など予防的措置を採用したが、ブラジルはメ

ルコスル協定違反と激しく反発している。

アルゼンチン政府は7月23日、180億円のサムライ債を発行した。期間10年、表面金利3.5%で発行価格は70.71。

メネム大統領は「北大西洋条約機構(NATO)の正規加盟国になる用意がある」旨の書簡をクリントン米大統領とNATO委員長に送り7月13日、ドミンゴス前国防大臣をNATO本部に派遣し加盟希望の趣旨説明を行なった。しかし野党が反発し国内で大きな議論となった。アルゼンチンは国連平和維持活動への積極的参加、軍隊派遣を評価され2年前、NATOの域外加盟国に指定された。米大統領とEU委員長より地理的制約から加盟は難しいとの回答があった。

7月14日、政府は本年5月の失業率を14.3%と発表した。前回調査の98年10月の失業率は12.4%であった。

ディ・テラ亜国外相とクック英外相はロンドンで7月14日、82年のマルビーナス戦争以来、禁止されていたアルゼンチン人の同島への訪問を認めることで合意、調印した。合意書の内容はアルゼンチン人

のアルゼンチンのパスポートでの同島への訪問、チリと同島間の定期便再開への支持、漁業などである。ランチレ航空(チリ)のチリからマルビーナスへの定期便はピノチェト問題から運行を停止していたが、この合意によりチリ発の商業便がアルゼンチンに立ち寄りマルビーナス島に向う予定である。

長らく国会で審議中であった財政均衡法案が国会を通過、法律として成立した。この法律はアルゼンチンの財政規律確立の視点から国際機関や外国投資家から成り行きが注目されていた。1999年財政赤字の対GDP限度を1.9%とし2003年には財政収支均衡を定めている。さらに景気変動対策基金の創設、多年度予算の編成などを定めている。通貨発行高を外貨準備の範囲内と法律で定めた兌換法に模して、財政収支に足かせを嵌めることからこの法律は財政兌換法と呼ばれている。

NKKは7月27日、継ぎ目なし鋼管分野で世界最大の企業グループのシデルカ社(アルゼンチン)とタムサ社(メキシコ)と、輸出や販売面で全面的な提携に向け最終調整を進めていることを明らかにした。

政府は電力民営化の一環として外資による独立発電事業(IPP)への参入を推進している。三菱重工業は7月、アルゼンチンのIPPであるAESパラナ社から発電設備を受注した。受注額は約100億円で日本輸出入銀行と東京三菱銀行など民間銀行がAESパラナ社に機器購入資金として総額1億200万ドルを融資する。

輸出額：
312億6000万ドル

輸入：
355億400万ドル

外国直接投資額：
155億2500万ドル

経常収支赤字額：
131億1000万ドル

財政収支赤字額：
45億ドル

要資金調達額：
169億ドル

(内訳、償還115億ドル、財政収支赤字45億ドル、その他9億ドル)

9月16日、メネム大統領と1995年に正式離婚したスレマ・ヨマ元夫人は、「30年前に中絶し、夫もそれを承知しており協力してくれた」と告白、政界を巻き込んだ騒動を呼んでいる。メネム大統領はカトリック教徒で反中絶の立場でバチカンから叙勲されていて、中絶合法化を主張する野党連合を激しく批判している。

9月12日に行なわれた4州の知事選挙で与党ペロン党はミシオネス、サンルイス、ラ・リオハ3州で勝利し野党連合はチャコ州だけであった。大統領選挙では野党有利と言わながら依然ペロン党が地方で強い事を示した。

アルガニヤ・パラグアイ副

9月14日、政府は来年度予算案を発表したが、前提となる経済指標は以下の通りである。

GDP：2975億4300万ドル

GDP成長率：3.5%

本文（英文）は当協会へ

■ BULLETIN NO. 13 — SEPTEMBER 1999

大統領暗殺事件に関与していると言われているアルゼンチンに亡命中のパラグアイ元陸軍司令官オビエドの処遇を巡ってアルゼンチンとパラグアイの関係が悪化、パラグアイ政府からの身柄引渡し申請をアルゼンチンが拒否、予定されていた両国首脳会談が9月9日、取り消された。

大統領選挙キャンペーンの最中、9月2日、メネム大統領はアルフォンシン元大統領（急進党党首）と会談し与党ペロン党や野党急進党の幹部を驚かせた。会談ではスムースな政権移行につき合意した模様で、大統領再選を認めた憲法改正で1993年になされた両者間のオリーボス（大統領官邸）合意に次ぐオリーボス第2合意と言われている。野党関係者はこの合意を野党連合の勝利をメネム大統領が予想した結果と理解している。

9月2日、デュアルデ与党ペロン党大統領候補者が産業界、労働組合など各界の意見を集約して作成した法案が下院事務局に提出された。内容は付加価値税の21%から15%への引下げ、中小企業の未払い税金の一部免除、消費財輸入関税の5%引き上げなどとなっている。

金融危機伝播への防衛策	1
為替制度に直結した、健全かつ慎重なマクロ経済政策が、国際金融危機の侵入への効果的な防衛策。アルゼンチンの選択肢。	
NAFTAによる非関税障壁	4
外国貿易委員会はアルゼンチン産品輸出に係わる非関税障壁についてデータベースを作成、インターネットで公開。	
EUとメルコスール、統計方式の一本化で合意	9
EUの支援をえて、メルコスールでも統計方式を一本化し、統合の促進を目指す計画が始動。実施総額670万ドル、うちEUが7割近くを負担。	
石油天然ガス生産販売の飛躍的成長	10
民営化と市場規制緩和による成果。国内需要増と近隣国向け輸出に対応。	
観光産業 53億ドルの大ビジネスに	20
イグアスから南極まで豊かな資源に恵まれる観光産業は、通貨安定を背景に着実な伸び。98年外貨収入の第1位。高級ホテルへの投資相次ぐ。	

■ BULLETIN NO. 12 — JULY 1999

進展するメルコスールの立場	1
伯・ア間でメルコスールにマーストリヒト条約（EU）のようなものを導入する動きに、ウルグアイも同意。農業保護政策でメルコスールはEUとNAFTAの狭間に。	
2000年問題、政府による行動計画	5
公共サービス管理庁内に2000年問題対策本部を設置。金融、医療、エネルギー、通信、輸送など部門毎に対策の進捗状況を把握。	
民営化による電力セクターの急成長	10
発電量の飛躍的贈大と売電価格の半減を達成。近隣国向け輸出順調、新規発電所計画も活発。	
一世紀以上に及ぶチリとの国境紛争に幕	15
チリとの国境紛争が6月3日の大陸氷床国境確定条約の批准により全面的解決へ。アンデス鉱業開発協定の批准も間近か。	
ビッグマック指標と購買力平価	16
世界中同一レシピのマクドナルドバーガー原料価格を基礎とするビッグマック指標によると、アルゼンチンペソの対ドル購買力平価は95年の29%過大評価から97年以降は2~3%の過大評価で安定推移。	

シリーズ・アルゼンチンと私（1）

「はるかな友」「遠くて近い国」アルゼンチンとのかかわりを、会報の編集委員の方々（ABC順）に語って頂く。日本人の多くが、アルゼンチンに抱いている Cariño（愛着）を多角的に解析してみようとの試みである。第一回は元駐ア大使の藤本芳男さんの登場。

藤本 芳男（財）世界の動き社理事長、 当協会副会長

外務省に奉職して40年の間にいろんな国を回ったが、行く先々で、また日本に帰ってからも、どの国が一番居心地が良かったかとよく訊ねられた。この種の質問は、相手によって答えが違っても許されようが、どの国が一番鮮烈な印象だったか、などという上手な質問だったら、筆者は躊躇なく、「南米の場合はアルゼンチン」と答えたい。

ブエノスアイレスに住んでいたのは、もう10年も前になるが、いまだ不思議な感傷にとりつかれる。豊かな大地に美しい人達が住んでいて、南半球にありながら、そこはかとなくヨーロッパの文化が風化している。町並みや家屋のたたずまいはパリやマドリドそのままであり、街角を飾る石像はそれなりに歴史の奥行きを感じさせる。

果てしなく広がるパンパの優美さや、抜けるように青い空、気の効いた服飾店のたたずまいや、タンゴの調べ、どれひとつを取ってみても観る

人の気持ちを揺さぶる。
"Don't cry for me Argentina" の切々たる調べに心を震わせる我々は、美しきもの、愛すべきものへの惜別を肯定する。

こうしたブエノス・アイレスに勤務したことのあるわが企業戦士達は、必ず舞い戻つてもう一度勤務する事になるという。大使館員も例外ではない。

筆者の場合、1989年の7月にメネム大統領に信任状を奉呈したので、メネム政権発足と同時に大使館勤務を始めたことになり、同政権に対し、特別の愛着を感じている。在任中、メネム大統領とは何回もお会いしたが、その都度にこやかに対応して貰ったのをいまでも良く覚えている。先般日ア修好百周年記念で国賓として来日されたときにも旧交を温める機会があったが、お会いしたとき思わず "Hola Carlos" と出そうになって困った。

大使としての仕事を始めたのが、政権発足と同時だったので、政権の施策の成否に一

喜一憂した。幸いなことにメネム政権の運営は堅実でメネム大統領の力量を立証するものだった。とくに、ペロニズムを軸とする国家主導型経済を徹底して民営化した政治力と為替兌換法を打ち出してインフレを一気に収束させた手腕が印象に残る。民営化を追求し、ハイパー・インフレを収め、経済成長を実現した過程は、奇蹟に近いもので、国営経済からの転換を策していた東欧諸国などのお手本に成りえたのではなかろうか。世界はこの「アルゼンチンの奇蹟」にもう少し目を向けても良かったと思われる。

ラテン・アメリカのプロトタイプをさぐろうとすると、我々は普通インディオやメスティーソ（混血の人達）が住むアンデス諸国をイメージする。グアナコののどかな姿やケナの幻想的な音色を想う。だがアルゼンチンは違う。アルゼンチンが南米大陸の南にあって、「いぶし銀」のような輝きを保っているのは、ヨーロッパから移ってきた多文化が共生して栄えた賜物だ。タンゴの発祥も、ボルヘスの文学も、ハドソンの自然学も、ポロも皆、多文化共生の成果と言える。筆者はとくに、アルゼンチンに生まれた自然学者ハドソンが自然を愛しながら英文学で名を成し、またその姪の娘ヴィオレッタ・シンヤ女史が日系人であることに日本とアルゼンチンとの間の絶妙な繋がりを感じる。

～次回は福島穆さん、元NEC ブエノスアイレス主席駐在員～

インタビュー<この人>

勝った海戦の教訓は生かされたのか

津島 勝二さん (元2等海佐)

アルゼンチン武官の日本海海戦観戦記録を翻訳した

河崎 熱 元NHKアルゼンチン支局長、当協会理事

ラテンアメリカの映画や音楽に魅せられ、大航海時代の船乗りやコンキスタドールの活躍に心を躍らせて、「子どもの頃は、船乗りになるか、南米に移住するかを夢見ていました」

高校の時からリンガフォンでスペイン語の勉強を始めた。「ほとんど独学です」大学を出たあと海上自衛隊に入り、南米への遠洋航海3度、ブラジルでの大使館勤務3年半で語学に磨きをかけた。スペイン語の詩が好きで、チリのガブリエラ・ミストラルやアルゼンチンのユパンキラの詩を、左に原語、右に自分のつけた日本語訳をぎっしり書き込んだノートを大切に持っている。

「アルゼンチン観戦武官の記録」は、日本軍艦に乗り込んだガルシア大佐が、日本海戦の一部始終を冷徹な眼で分析したものであるが、単なる戦闘記録にとどまらず、海戦後も広く日本各地を訪ねて、勝利の背景にあった日本人の勤勉、規律、教育、周到な海軍力整備などを鋭く観察している。

「著者が100年近くも前に聞

き取りで書いたアルファベットの人名表記をどう漢字に戻すかが大変で、これに一番時間を取られました。でも、格調の高いスペイン語で、こんなところまで見ていたのかという発見がおもしろくて、苦痛はありませんでした」

防衛庁の教育資料用として始められた翻訳は、通常勤務外に暇を見つけての作業で、2年を費やした。

ガルシア大佐が指摘するよう日本側には、旅順港封鎖の失敗などの作戦ミスがあったのだが、「勝った勝ったで軍部に対する批判が許されなくなり、戦闘を冷静に分析して反省材料にしあとの時代につなげることができなくなってしまったのです」

真珠湾攻撃の失敗は、相手の水上艦隊には打撃を与えたものの空母艦隊の行方が分からず、まるまる温存させてしまったことにあるという。

「日露戦争の時のように相手の動きを知るための情報の重要性が置いてきぼりにされていたのです」

「バブル経済の顛末と似ていて国全体がわーっと同じ方向に行ってしまうんですよね」



2年をかけて膨大な海戦史の翻訳をし上げた人にしては、偉ぶらないほのぼのと温かい人だ。今は、お茶の水外語学院で、世界舞台での活躍を目指す若者達に、経済学や語学を教えている。

印税が手許に入る訳ではないのだが、暇を見つけて、まだ手をつけていない700ページの資料編の翻訳にとりかかる意気込みである。

「アルゼンチン観戦武官の記録
日本海海戦」

ガルシア大佐著 津島 勝二訳
発行

(社) 日本アルゼンチン協会
発売

(株) イデア・インスティテュート

第4回安田ペヘレイ養殖場見学のご案内

今年のペヘレイ・ツアーレは11月になりました。毎年、参加人員は増え続けていますが、今年の企画は従来のものに加えて
(1) アルゼンチン大使館より、ベジョーソ公使夫妻、ルビオレイナ参事官・総領事夫妻
(2) 9月から始まったスペイン語教室の初級、中級教師夫妻
(3) パジャドール高野太郎とそのグループに加え、元アルゼンチン国立舞踊団の日本人で最初の正式メンバーであった宮下美和子さん特別参加
がある予定です。

ご家族、お友達をお誘いのうえ、多数ご参加ください。

日時： 平成11年11月13日（土）10：30～17：00頃
(拘束時間)

集合場所・時間：

JR高崎線 熊谷駅下車 南口階段下
11：45分集合

日程：
11：50 熊谷駅 発（借り上げバス、定員50名）
12：05 (株) 安田ペヘレイ養殖場 着（見学）
12：55 昼食
15：35 同 養殖場 発
15：55 熊谷駅 着（解散）
16：11 同 駅 発

費用： 会員5,000円、非会員6,000円
(昼食ペヘレイ寿司、てんぷら、アサード、飲み物、
バス代込み。なお、当日バスの中で申し受けます)

バス申し込み：電話又はFAXで芳名、人数、住所、電話番号を11月8日(月)までご連絡願います。

自家用車：ご自分の車でお越しの方も芳名、人数、住所、電話番号を上期日まで当協会へご連絡願います。

JR高崎線 時刻表：

下り	列車番号	859	上り	列車番号	940
上野	発	10：40	熊谷	発	16：11
尾久		10：46	大宮	着	16：48
赤羽		10：50	浦和		16：53
浦和		10：59	赤羽		17：02
大宮		11：05	尾久		17：07
熊谷	着	11：44	上野		17：13

「実用スペイン語」 講習会の開講

既報（第25号）のとおり、初級は10月1日より、中級は9月28日より夫々開講し、12月中旬まで12回講習が行なわれる。初級はマリサ・ミステレナ先生が生徒12人、中級はリナ・B・フェララ先生が5人の生徒を受け持って授業が開始された。生徒の大半は法人会員で占められ、そのほか個人正会員、賛助会員が若干名いる。なお、好評なので引き続き冬季講座（1-3月）を開講する予定。

ブエノス・アイレス 日亞学院向け 日本語教材の船積 輸送

埼玉県庁から、ブエノス・アイレス日亞学院に寄贈する日本語教材（教師用指導書、教科書、テープ、絵本、書籍、パソコン・プリンター等24箱）を、同県庁が在京アルゼンチン大使館に輸送を依頼した処、同大使館より当協会に船積輸送の依頼があった。そこで当協会はネドロイド・リオ・グランデ号に積込み、8月8日横浜を出港した。海上運賃は（株）商船三井の特別の計らいで無料となり、9月25日ブエノス・アイレス港に入港した。

文化行事

【※】は当協会員特別割引

■ 華麗なるタンゴ～

池田光夫タンゴ演奏会

日時：10月29日（金）

18:30 開演

会場：川崎市麻生市民会館
大ホール（044-951-1300）

出演：池田光夫とロス・ア
ミーゴス、ダンス
シンゴ&アスカ、
ゲスト戸川昌子

入場料：4,000円

【※3,600円】

交通：小田急線新百合ヶ丘駅
前徒歩1分

主催：日本タンゴ演奏協会
(代表池田光夫、当協会員)

後援：アルゼンチン共和国大
使館、(社)日本アルゼ
ンチン協会

連絡先：ロス・アミーゴス

TEL 3489-2519

FAX 3595-3932

■ 熱愛のタンゴ

(Adoración de Tango)

日時：11月18日（木）

開演 19:00～21:00

会場：江戸川区立総合文化
センター

出演：演奏エンリケ・クッチ
ニーとタンゴ楽団(5人)、
踊り2組、歌手1人、
友情ゲスト歌手グロリ
ア・米山

入場料：4,500円【※4,000円】

交通：JR 総武線新小岩駅

南口下車徒歩14分

主催：江戸川タンゴ・クラブ

(会長大橋雄一、当協会員)

後援：アルゼンチン共和国大
使館、(社)日本アルゼ
ンチン協会

連絡先：江戸川タンゴ・クラブ

TEL 3650-3740

FAX 3650-1204

会費：4,000円【※3,600円】

(ドリンク・おつまみ付)

交通：銀座線 銀座駅

連絡先：090-3918-4576

(HYG企画)

■ TANGO from ブエノス

アイレス'99

日時：12月13日（月）

ディナーショー 18:45＼

ショータイム 20:00

会場：ホテルニューオータニ
(芙蓉の間 東中の間)

演奏：セステート・スール、歌
香坂 優、ダンスカップ
ル ジャニーナ & ネル
ソン

会費：30,000円【※27,000円】

交通：銀座線、半蔵門線、
丸の内線 赤坂見附駅
下車徒歩4分

主催：オフィス香坂 優（当
協会員）

協賛：メルシャン（株）

チケット取扱：オフィス香坂
優 TEL 5701-5821、
クラウドナイン
TEL 3473-9819

■ ザ パーティ

フェアウェル'99"

日時：12月26日（日）15:30

(ダンスタイム)

18:00 (ディナー&ワイ
ンタイム スタート)

会場：横浜プリンスホテル
綾錦の間

タンゴショー：「ヨコハマ

■ 清水百合クリスマス・

タンゴコンサート

日時：12月12日（日）

15:00 開演

会場：銀座クロイゾンホール

演奏：岩崎宏之とタンゴコス
モス、歌 清水百合（当
協会員）ほか

お知らせ

タンゴ ブエノスアイレス」

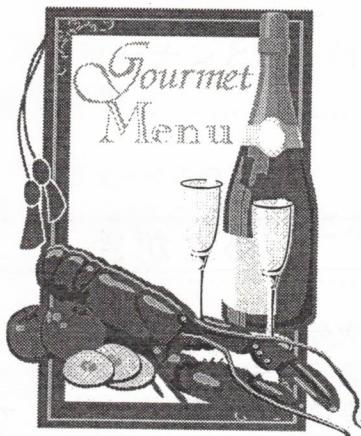
出演：アルゼンチンの若手トップ「セステートスール」、歌手グラシエラ・アルセリ、ダンスカップル ジャニーナ&ネルソン
コンテスト：タンゴの歌&ダンス（参加資格：アマチュア、ダンス課題曲有。歌、伴奏曲テープ持参のこと、12月10日申し込み締切）

会費：パーティー&ディナー 27,000円【~~22,000円】~~

主催：申し込み：ハラダ
ダンスグループ
(原田裕子、当協会員)
TEL 045-461-6020)

後援：横浜高島屋、メルシャン（株）、H.D.G. 後援会

交通：京浜急行 屏風浦駅、
JR線 磯子駅下車（磯子駅バス停6番より送迎バス有り）



■ タンゴ歌手小原みなみとともにペルーとアルゼンチン紀行

日程：11月18日（木）～29日（月）12日間

- | | |
|--------|-----------------------------------|
| 同日 | 成田発（マイアミ乗り継ぎ） |
| 19日（金） | リマ着（マチュピチ遺跡見学、フォルクローレ観賞） |
| 23日（火） | 同発 |
| 24日（水） | ブエノス・アイレス着（タンゴ観賞、小原みなみ（当協会員）出演予定） |
| 25日（木） | イグアス（滝見学）着 |
| 26日（金） | ブエノス・アイレス着（タンゴショー観賞） |
| 27日（土） | 同発（マイアミ経由） |
| 29日（月） | 成田着 |

旅行代金：638,000円（エマヌエル孤児院に対する義援金を含む）

旅行主催：申込み：読売新聞グループ、（株）読売旅行大手町 営業所 TEL 03-3270-6165、 FAX 03-3241-1130



■ アルゼンチン魅惑の周遊旅行

- | | |
|-----------|----------------------------|
| 1月 26日（水） | 成田発 RG837（サンパウロ乗り継ぎ） |
| 27日（木） | イグアス着（滝見学） |
| 28日（金） | コルドバ着 |
| 29日（土） | コスキン・フォルクローレ・フェスティバル
観賞 |
| 30日（日） | ブエノス・アイレス着 |
| 31日（月） | 市内観光、タンゴ観賞 |
| 2月 1日（火） | メンドサ着 |
| 2日（水） | ワイナリー見学 |
| 3日（木） | 同発（ブエノス経由 サンパウロ乗り継ぎ） |
| 5日（土） | 成田着 |

旅行代金：749,000円（7泊11日間）

企画：日本ラテンアメリカ文化協会（会長帆足まり子、当協会員）

旅行主催：JTB 海外旅行虎ノ門支店（当協会員）

申込み：TEL 03-3504-2441（久保田、旭澤）

■ アルゼンチン・フォークダンスのレッスン

講師：アルゼンチン芸術集団代表・舞踊家 宮下美和子（当協会員）

講師略歴：2～3歳の頃より踊りが大好き。15歳より機械体操を始める。学生時代シャンソン、ラテンを歌うと同時に“ラテンリズム”にとりつかれ、踊り（ラテンダンス）を始める。1978年、アルゼンチンに渡り、国立民族音楽舞踊大学校、国立ブエノスアイレス大学入学。同大バレエ団に入団。1986年アルゼンチン伝統民族音楽舞踊団“Viento de Oro”結成。世界各国で公演活動を始める。現在、アルゼンチン芸術集団“Arte Argentino”主宰。

受講料：15,000円（3ヶ月、6回）、入会金5,000円

第1会場：パルコ毎日新聞 カルチャーシティ

（渋谷校 TEL3477-8969）

渋谷区宇田川町3-7 渋谷パルコ・PART2（6F）

日時：10月7日～12月16日（途中受講も可能）

第2会場：パルコ毎日新聞 カルチャーシティ

（ひばりが丘校 TEL0424-25-5252）

保谷市ひばりが丘1-1-1 ひばりが丘パルコ（6F）

日時：10月13日～12月22日（途中受講も可能）

第3会場：パルコ毎日新聞 カルチャーシティ

（厚木校 TEL0462-96-8015）

厚木市中町2-10-21 厚木パルコ・デュエ（5F）

日時：10月10日～12月26日（途中受講も可能）

人事往来

（平成11年7月～9月）

来日

ダニエル・メイラン経済省鉱業次官

マリア・クライン経済省日本課長

9月25日～10月2日（鉱業セミナー出席）

真木 信明 ブエノスアイレス日亞学院理事長

9月27日～10月14日

（ジャパン・ストーン・フェア・インターナショナル出展）

外務省人事（発令日付）

堀村 隆彦 中南米局長（前サンパウロ総領事）8月16日

渡部 和男 在アルゼンチン大使館参事官（前国連代表部参事官）9月20日

会員を募集中です

特典：

☆ 年4回、最新のニュースや話題を盛り込んだレベルの高い会報を無料配布

☆ タンゴやフォルクローレ演奏会等の催物の会員割引

☆ 会員アーティスト主催の文化行事の割引ご案内

☆ 当協会主催の催物ご参加（実費徴収）、スペイン語講座（授業料会員割引）など

☆ 協会年会費：

個人正会員 10,000円

（定款上総会の構成員、議決権有り）

賛助会員 5,000円

（議決権なし）

☆ 郵便振込口座：

00120-6-581381

☆ 住友銀行日比谷支店口座：

普通 215-99570

☆ 連絡先：事務局

TEL03-3501-4684

あとがき

次号（27号）は新年1月中旬発行予定です。会員各位の投稿、ご意見をお待ちしています。